

ワークショップ

“日本のアグロエコロジー” トランジション 2018 !!!



KYOTO地球環境の殿堂 アルティエリ夫妻と共に

2018年 2月12日(月)

11:00~17:30

龍谷大学大宮キャンパス(京都市)

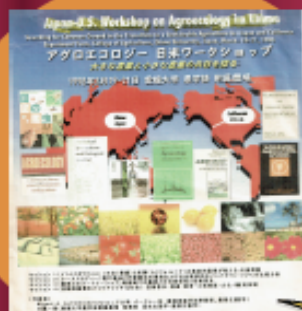
清和館 301講義室(ホール)

共催: 日本有機農業学会、龍谷大学経済学部

総合地球環境学研究所

後援: 一般社団法人日本生態学会

生態系管理専門委員会



研究

アクション

教育



ワークショップ開催に向けて

- Miguel Altieri 氏(カリフォルニア大学バークレー校名誉教授)が「KYOTO地球環境の殿堂」入りするのを記念して開催。
(表彰式は2月10日. <http://kyoto-np.co.jp/environment/article/20170929000170>)
- キーワードは、持続可能な未来に向けてのアグロエコロジカル・ドライバー。
- すなわち、持続的な未来を切り開くための駆動因について、アグロエコロジーの理論と実際を駆使しながら、我が国でどのような手立てがあるのか、多様なステークホルダーと共にモノ・コトを持ち寄る。
- “二項対立、分断に陥らない”多様で小さな駆動因”を対象に基礎的研究・教育・行動の各点から議論を行う。このことによって、より順応的で実際的かつタフな持続可能な未来への取り組みについて、自然・食・農を結びつけて学び合う場とする。

ワークショップの構成

第一部

(11:00～12:20)

やさしい
アグロエコロジー入門
基本概念・原則・実践

M. A. アルティエリ氏
(要点解題の逐語訳付)

第二部

(13:40～17:30)

参加型ワークショップ
多様なステークホルダー
と共に持ち寄ろう!!!
“多様で小さな
アグロエコロジカル
ドライバー”

* 第二部は、共催・後援団体の会員向け、使用言語は英語になります
連絡先: sunhwkaz@agr.ehime-u.ac.jp (日鷹)

第二部プログラム

セッション

時間

ファシリテーター

土地所有の
歴史から

13:40～14:40

棚澤能生(早稲田大学)
羽生淳子(UCB/地球研)
大山利男(立教大学)

自然・生態系・
多様性から

15:00～16:00

鎌田磨人(徳島大学)
クララ・ニコルズ(UCB)
日鷹一雅(愛媛大学)
西川芳昭(龍谷大学)

持続的農業の
駆動因とは？

16:20～17:20

澤登早苗
(恵泉女学園大学)
尾崎 零(農業者)
金子信博(横浜国立大学)

+総括コメント
M.A.アルティエリ氏

～17:30